

水環境館 指定管理者検討会 会議録

- 1 開催日時 平成30年10月12日（金） 13:00～17:00
- 2 場 所 北九州市役所 141 会議室
- 3 出席者 (検討会構成員) 鬼束構成員、松本構成員、植田構成員、
福地構成員
(事務局) 建設局河川部水環境課長、企画調整係長、職員

4 会議内容

- 施設の概要、検討員について、事務局より説明
- 構成員の互選により、座長を選出
- 当日の配布資料・議事次第等について、事務局より説明。
- 検討会の位置づけ及び選定基準、採点の注意事項について、事務局より説明

○ 応募団体(株式会社ネイチュアエンタープライズ)より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 魅力ある水槽生物の展示を行うとのことだが、どのような方に監修を行ってもらう予定なのか教えていただきたい。

(応募団体) 具体的なところはまだ決まっていないが、社内に生物系の大学を出て詳しいものがある。先日、紫川を下流から上流まで歩いてみた。紫川の生態系の変化についての展示を考えていくつもりである。

(構成員) 事業としてアウトドアの教室を開くとのことだったが、それ以外に環境学習施設としてのイベントは考えているか。

(応募団体) 生物環境のことを勉強してもらおうつもりである。これから地元の人脈を広げながら、イベントスペースを活用してのワークショップなどを考えている。

(構成員) 様々な施設での経験値があるとのことだが、グループとしてのものかネイチュアエンタープライズとしてのものか。

(応募団体) 説明したのはグループとしてのものである。ネイチュアエンタープライズとして特化しているものは、行政などに対するアウトドアのノウハウを使ったコンサルティング事業や、雑誌の出版などである。

- 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入

○ 応募団体（北九州みずべ活性化共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

（構成員） 施設の管理の実績はあるのか。

（応募団体） 魚部の事務所が小倉北区役所の横にあるが、そこで常時 100 種類以上の生物を飼育している。また、いのちのたび博物館では、昨年、1 ヶ月間にわたって、日本に生息する全種類のドジョウを飼育して、最後まで維持管理できたという実績がある。また、岡崎建工として、5 つ指定管理業務を行っており、その中でも 2 つは単独で施設の管理を行っている。

（構成員） モンベルとイベントの連携をする約束をしているとの説明だったが、具体的にはどのようなものか教えてほしい。

（応募団体） まだきちんと約束を交わしたわけではなく、以前お会いしたときに話を交わした程度である。

（構成員） いくつかの博物館との連携の実績があるとのことだが、そのようなネットワークを水環境館で活かすようなことを考えているか。

（応募団体） 考えている。豊田蛍の里ミュージアムと共同でミニ企画展の交換、お互いの施設の展示や、大阪自然史博物館と連携し、オリジナルグッズをお互いに置いたりなど、これから考えていきたい。

（構成員） 水辺のイベントをする上では安全上の管理が必要となると思うが、みずべ活性化共同事業体自体で、カヌー経験・安全管理の資格を持っている人はいるのか。

（応募団体） 私が以前屋久島の環境文化財団の環境学習に従事しており、そこで救急救命講習を受けている。また、われわれの会員の中でカヌースクールを受講している者、免許を持った者がいる。また、モンベルと共同でプログラムを作成し安全管理を徹底したい。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入

○ 応募団体（玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体）より提案概要に関してヒアリング

（構成員） 入場者数を最終的に 2 割増しにしたいとのことだが、それまでの過程を再度教えていただきたい。

（応募団体） 提案書に 5 ヶ年の入館者数の計画を策定しているが、1 年目の指定管理業務ではスタートであることから準備を進め、3 年後ぐらいから入場者数の増加を見込んでいる。広報活動を重視し、HP 等を様々なコンテンツを入れながら、いろんな方たちに見ていただける、新しい情報になっているものを整備したい。また、チラシ等を小学校全体に配るなど地道な活動を 1 年目に行いたい。

（構成員） p.12 に水槽管理を最低限にするとの記載があるが、どの程度削減するのか、また空いたスペースの活用方法は。

（応募団体） 水槽の数についてはこれから水環境課と協議して決めていきたい。極端に減らすことは考えていない。紫川、北九州市の河川に触れていただくことは重要だと考えているので、施設の規模と北九州の河川の特

性などを考えて計画を立てていきたい。

(構成員) 学校等の受け入れ事業について、すでに学校ごとに見学に行く施設が決めてあると思うが、その中で新たに水環境館に見学に来てもらうことは難しいのではないかと思うが、そのあたりについてどのように考えているか。

(応募団体) 教育委員会さんと話をしながら決めていきたい。市内のみならず市外の見学も増やしたい。現状お越しになっている団体さんへのサービスをまずは上げていく。それを広げていくためにはご案内の書類を作って福岡県内の小中学校に配布するなど広報の活動をしながら地道に増やしていく。また、企業・団体についても HP 等でアピールしながら、現状で 90 団体受け入れているものを 120 団体まで増やしたい。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入

○ 応募団体（北九州まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体）より提案概要に関してヒアリング

(構成員) 入館料を徴収するとのことで、目標人数を 8 万人と設定しているが、その積算根拠を教えてください。

(応募団体) かつて入場料を取っていた頃の入場者が約 7 万人であり、今回、周辺の賑いづくりをやっていくので、その効果も見込んで 8 万人は可能であろうとの想定である。また、5 年度の 10 万人の目標値についてはいろんな仕組みが整い、魅力を増していきながら達成していこうとの思いで設定している。

(構成員) これまで長く運営してきた中で、こういった課題があると考えているか。

(応募団体) 1 つには入口が分かりづらいということがある。今度のリニューアルで看板が更新されると聞いているので、大丈夫だと思っている。2 点目は展示しているものを説明できるスタッフの能力が少し不足していることがある。今年の春から入ったスタッフが活躍しているので、期待している。3 点目は接続している井筒屋の地下からは出入りが少ないこと。リニューアルされてから館内での飲食が可能になっているので、井筒屋で買ったものを水環境館に持ち込むことは可能であるが、なかなか皆さんに認知されていない。お互いの良さを相乗効果として出せていないので、今後の課題である。

(構成員) 入場料を新たに取ること自体は問題はないと思うが、入館者数確保のための魅力的なイベントについて具体的に教えてください。

(構成員) キッチンを一般開放するとしているが、飲食業者に入ってもらえるものか、デパートの催事のようにイベント的に使うのか、団体へ貸し出してパーティーのように使うのか、具体的に教えてください。貸切を考えているとのことだが、そのときに一般の方とはどう区別するのか、教えてください。

(応募団体) 土日祝日の利用の多い日については、商工会議所で実績のあるように

スタートアップ支援として、安い利用料金で貸し出して、今から飲食店を始めたい方に向けてポップアップストアとして活用したい。うまくいけば定着していただいても良い。平日に関しては飼育員が対面で販売して、生物のコラムなどを話しながら、来館者とよりコミュニケーションを取れるような運用を考えている。貸切については水環境館閉館後、一般の方が入れない時間帯で行う予定である。具体的には今後検討していきたい。

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入

○ 構成員は、提案概要のヒアリングと質疑応答を受けて各自得点を記入し発表。その後、構成員全員で意見交換

(構成員) ネイチュアエンタープライズについて、北九州のこと、環境・水生生物についての提案が少なく、アウトドアのイベントに偏りすぎている。

みずべ活性化共同事業体について、若者の提案であるだけにこれまでにない柔軟なものになっている。ただ、NPO 法人としての発足から間がないことから、管理運営がきちんとできるのか不安がある。

玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体についてはこれまでの運営実績があることから運営については不安がないため高く評価している。これまでやってきた事業内容から大差がなく新鮮さに欠けるところはある。

まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体について、入館料を取るということだが、想定している金額を徴収できるか、不安がある。

(構成員) ネイチュアエンタープライズについて、アウトドアについてのイベントは魅力的な提案があったが、環境学習施設としてのイベントの提案については具体性がなかった。

みずべ活性化共同事業体については、水生生物に関しては非常に経験を持っており、意欲を感じた。ただし事業収入を1千万円以上計画している点について、実現性に不安があった。

玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体について、非常にバランスの良いメンバー・提案となっていた。事業についても現実的な提案となっており良かった。水槽の削減の話があったが、魅力が減らないか懸念がある。

まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体について、150 円の入館料を取るための実現性について提案がなかった。水生生物に関しては実績があるようだが、新しい提案がなかった。

(構成員) ネイチュアエンタープライズについてはアウトドア中心であり水生生物についてはあまり関心がないようだった。

みずべ活性化共同事業体については提案が具体的であったので一度運営をやってもらおうと面白いのではないかと。

玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体については、カヌー系には

強いが生態系についてはあまり強みがないように感じた。

まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体については、入館料を有料としながら、入館者数が減る上に指定管理料もそれほど削減されていないのでは、何のための有料か分からなかった。

(構成員) ネイチュアエンタープライズについて、アウトドアイベント中心となっており、室内イベントについてはほとんどなかった。

みずべ活性化共同事業体について、熱意は非常にあり感心したが、施設管理の面からすると少し不安があった。

玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体については室内・室外の提案についてきちんと提案しており、発表に対する準備がしっかりされていた点も評価できた。

まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体については、現在無料の入館料を有料にして、過去有料だったとき（平成13年～15年）より入館者数が増えるの見込んでいる点に現実性に疑問を感じた。

○ 審査項目「指定管理者としての適性」について協議し、各構成員の評価レベルを再度確認したうえで、検討会としての評価レベルを決定

○ 事務局は合計得点を発表し、検討会としての検討結果（総合的な所見）について協議

(構成員) ネイチュアエンタープライズについてはアウトドアイベント中心の提案であり、水生生物や環境学習に関するイベントの提案が少なかった。

みずべ活性化共同事業体について、発想が面白く、生物飼育の点で実績・意欲に期待ができるが、事業収入の計画については実現性に不安がある。

玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体については、水生生物の管理・水辺のアクティビティ・施設管理に関して非常にバランスの良いメンバー・提案となっている。事業についても現実的な提案となっており、総合的にみて期待できる。

まちづくり応援団・朝日広告社共同事業体について、水生生物の管理に関しては実績があるが、入場料を取ることに、想定している入場者数および収入の実現性に不安があった。

以上より、検討会としては玄海グリーン&アドベンチャー共同企業体を候補としたい。

○ 意見交換を行った後、最終的な取りまとめを行い、検討会を終了した。